



令和 7 年 9 月 1 6 日
八王子市立上柚木中学校だより
第 5 号 (通算 357 号)
校長 三田村 裕

驚き、喜び、手応え

今年度がスタートして約半年。今年度も間もなく折り返し地点を迎えます。早いものです。さて、ここへきて三つの驚きがありました。

一点目は、ご協力いただいた前期学校評価で、かなりの項目で肯定的評価(「とてもそう思う」と「そう思う」を足したもの)の数値がこれまでより向上し中には十数ポイントも数値を上げたものがいくつかあるとともに、ほとんどの項目で肯定的評価の割合が極めて高い数値となったことです。私の長い教員生活の中で、これほどの高評価をいただいたことはかつてありません。

二点目は長崎修学旅行を令和 9 年度も継続するかどうかを判断するために、第 3 学年と第 1 学年の保護者に協力いただいたアンケートの結果です。長崎修学旅行の意義と成果を評価し長崎修学旅行を「よし」としてくださる方が、私たちの想像を超えて多くいらっしゃる事が分かりました。

三点目は、東京都授業改善推進拠点校として昨年度から取り組んできたことの成果が、生徒の学びに向かう姿の変容となって現れてきていることです。

これら 3 点についての詳しいことは、この号の別記事で書いているので、ぜひお読みください。

いずれも、私たちにとって嬉しいことでした。と同時に、日々取り組んでいることへの手応えになりました。これに慢心せずさらに努力してまいりますので、今学期もよろしくお願いいたします。

校舎外壁改修と屋上防水工事について

副校長 井上 昌巳

開校から 30 年以上が経った本校は、今年度が八王子市による大規模改修工事の年に当たり、体育館を含む校舎外壁の修繕塗り替え工事と屋根の張替え防水工事を行っています。工期は来年 2 月中旬まで。校舎の周りに作業用足場が組まれ、多少の騒音もありますが、生徒の学校生活に影響のないよう安全に作業を進めております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



10月末までの主な行事

学習教室：9月：16日(火)、17日(水)

9月18日(木) 中間考査(19日まで) 22日(月) 合唱祭練習開始 25日(木) 研究授業・理科(3年1組) 29日(月) 移動教室 (1・2年、10月1日まで)	10月17日(木) 合唱祭りハーサル、専門委員会、第2回進路説明会 20日(月) 学校公開、中央委員会 21日(火) 小学生来校(合唱祭練習見学) 23日(木) 合唱祭前日指導 24日(金) 合唱祭 27日(月) 生徒会朝礼、避難訓練 29日(水) 研究授業・数学(1年2組) 30日(木) 進路面談開始(11月7日まで)、学校保健委員会 31日(金) アンガーマネジメント(1年)
10月 3日(金) 安全指導、英語検定 6日(月) 専門委員会 8日(水) 小中一貫教育の日 10日(金) 生徒会役員選挙 16日(木) 研究授業・体育(3年2組)	

前期学校評価について

前期学校評価にご協力くださり、ありがとうございました。回答率は生徒が86.8%、保護者が43.4%でした。集計した結果は下表のとおりです。

1-あてはまる 2-ややあてはまる 3-ややあてはまらない 4-あてはまらない 5-わからない(判断できない)

		1	2	3	4	5	1+2	前回比	前々回比
学校の経営方針（個別支援の充実）を知っている。	生徒								
	保護者	95.7%			4.3%		95.7%	14.6%	13.8%
先生たちは、学校目標（自律・共生・創造）を伝えていますか。	生徒	87.7%			12.3%		87.7%	1.3%	-2.4%
	保護者								
学校は、特色ある取組（学力向上の取り組み）を行っている。	生徒	96.4%			3.6%		96.4%	-0.5%	0.2%
	保護者	98.6%			1.4%		98.6%	12.3%	14.1%
本校が、愛宕小学校、上柚木小学校と合同で行う取組を知っている。	生徒	87.7%			12.3%		87.7%	2.5%	-2.4%
	保護者	92.8%			7.2%		92.8%	4.8%	10.9%
学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	生徒	87.0%	9.4%	0.7%	0.0%	2.9%	96.4%	1.3%	0.8%
	保護者	78.3%	17.4%	1.4%	0.0%	2.9%	95.7%	1.7%	0.0%
学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育を進めている。	生徒	71.0%	20.3%	2.9%	0.7%	5.1%	91.3%	1.8%	0.7%
	保護者	66.7%	27.5%	1.4%	0.0%	4.3%	94.2%	5.4%	7.1%
学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	生徒	67.4%	16.7%	2.9%	1.4%	11.6%	84.1%	1.3%	-1.0%
	保護者	55.1%	36.2%	0.0%	1.4%	7.2%	91.3%	12.0%	15.4%
子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	生徒								
	保護者	73.9%	20.3%	2.9%	0.0%	2.9%	94.2%	2.8%	5.4%
先生たちは、落ち着いた学習できる学級づくりに取り組んでいますか。	生徒	60.9%	28.3%	3.6%	0.7%	6.5%	89.1%	3.3%	0.2%
	保護者								
学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、「ICT」機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	生徒	80.4%	17.4%	0.0%	0.0%	2.2%	97.8%	5.9%	3.4%
	保護者	75.4%	15.9%	1.4%	0.0%	7.2%	91.3%	1.6%	0.8%
学習活動に対する評価は適切・公平である。	生徒								
	保護者	63.8%	18.8%	4.3%	0.0%	13.0%	82.6%	12.8%	6.7%
学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	生徒	74.6%	18.1%	0.7%	0.7%	5.8%	92.8%	2.6%	5.5%
	保護者	75.4%	18.8%	2.9%	0.0%	2.9%	94.2%	8.0%	2.8%
学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	生徒	61.6%	23.9%	5.1%	0.7%	8.7%	85.5%	2.2%	1.5%
	保護者	82.6%	15.9%	0.0%	0.0%	1.4%	98.6%	5.4%	5.4%
学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	生徒	65.2%	23.9%	2.9%	0.7%	7.2%	89.1%	2.7%	-0.9%
	保護者	71.0%	21.7%	1.4%	0.0%	5.8%	92.8%	7.4%	9.1%
学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	生徒								
	保護者	75.4%	24.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	14.7%	5.2%
学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対する教育）に取り組んでいる。	生徒								
	保護者	71.0%	18.8%	0.0%	0.0%	10.1%	89.9%	9.7%	7.1%
学校は地域とともにある学校づくりを推進している。	生徒	55.1%	24.6%	2.2%	2.9%	15.2%	79.7%	16.1%	12.3%
	保護者	76.8%	20.3%	0.0%	0.0%	2.9%	97.1%	4.9%	2.3%
数学の習熟度別授業は、役に立っていますか。	生徒	79.0%	13.0%	2.2%	0.0%	5.8%	92.0%	3.1%	2.5%
	保護者								
英語の少人数授業は、役に立っていますか。	生徒	60.1%	20.3%	4.3%	5.8%	9.4%	80.4%	0.2%	9.7%
	保護者								

次のページには、いただいたご意見の全てと、それぞれへの回答を載せています。なお、いただいたご意見は、誤字脱字を直す、表記を統一する以外はいただいたままの文にしています。

自由意見

学年だよりなど、学校からの発信が多く、学校の様子や子どもの様子が分かり、ほっとしています。かなり手厚く見ていただけているのが分かります。子も環境が変わり、大変な部分もあるみたいですが、毎日学校が楽しいと言い通っています。上柚木中を選んで正解だったと感じます。 お子様が「学校が楽しい」と言い、保護者が「上柚木中を選んで正解」と感じてくださっていることは、私たち教職員にとって何よりの励みです。そして本校の「目指す学校像」である生徒にとって学び甲斐、保護者にとって通わせ甲斐、教職員にとって働き甲斐の三つの甲斐のある学校が実現できていることを手応えとして感じました。 これからも保護者との連携を大切にし、生徒一人一人が安心して学び、成長できる環境づくりに努めてまいります。	おります。また、生徒一人一人に寄り添いながら、様々な工夫を重ねていくことも大切なことだと考えています。自己決定や自己実現のできる生徒の育成を目指し、今後も生徒の成長を支えてまいります。
先生方の視点での上柚木中学校の特色を教えていただけると幸いです。保護者の立場では、子どもが通学する上柚木中と自身が通学した中学校しか分かりません。そのため、他校も経験できる先生方の視点で上柚木中の特色を把握できるとありがたいです。前回、いろんな学校のホームページ等を参考に保護者にやっていただくのがよしいとの回答でしたが、ホームページの「特色ある教育活動」に書いてあるユニバタイムだけでなく、親子給食や少クラスならではの良さなどホームページから読み取れないこともあるかと思いますが、いかがでしょうか。 本校の特色について4点お伝えします。 まずは、「生徒一人一人を大切にし、生徒一人一人に向き合う」取組です。教育相談や学習の補習を行う「ユニバタイム」をはじめ、可能な限り生徒に向き合っています。 2点目は、東京都教育委員会授業改善推進拠点校の取組です。生徒が主体的に学習できることを目標として、全教員で授業を観合い、また専門家の助言も得てよりよい授業づくりを行っています。 3点目は、長崎修学旅行や農業体験をメインに据えた移動教室のように、常に「今」を捉え、これから先を生きる生徒に必要な教育を考え、改善に努めています。 4点目は、学校運営協議会をはじめとする地域や家庭の実に厚い支えをいただいていることです。学習教室や英検・漢検の受験、さらにはユズタブカフェの開催など、学習面や生活を面合わせ生徒に「場」を作っていただいています。 これらの特色は、他校と比較しても上柚木中ならではの魅力だと感じています。	中学校では、WBGTは計測するだけで31以上の場合でも、屋外部活の中止・休憩などの措置は取らないのでしょうか？ 屋外の運動部の話ですが、測定器の警告音が鳴っていても、鳴ったからといって練習をやめて休憩した事も中止になったこともないと聞いて驚いています。毎日、部活動の練習中の頭痛は当たり前、ふらつくこともあると言っており、熱中症になりながら活動している状況だと知り、心配しております。熱中症は重度になると命の危険があるものです。危険な暑さと言われる炎天下で、水分補給や休憩をしながらとはいえ、3時間の活動時間は過酷です。安全管理を徹底し、命を守ることを最優先に考える部活動であってほしいです。 ご意見を真摯に受け止めております。 本校では文部科学省の示すガイドラインに基づき、管理職と日直が日に複数回暑さ指数（WBGT）を計測し数値に応じて活動に注意を払ったり制限をしたりしてきましたが、いただいたご指摘から一部で徹底できていなかったことが分かりました。お詫び申し上げます。 こうしたことが二度と起きないよう、WBGTの測定結果に基づいた対応について改めて周知するとともに、その徹底を図ります。保護者の皆様からの声は、学校にとって力となります。引き続きご意見をお寄せいただければ幸いです。
いつもお世話になりありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。 お子さまの成長を共に見守り、支えていけることを嬉しく思っております。こちらこそよろしくお願いいたします 学校公開でその日の授業のテーマや流れ、作業時間、教科書のページなどが視覚化されて分かりやすくなっているのを見てありがたく思いました。他にも授業内容を伝わりやすくする工夫、関心をもってもらうための工夫もいろいろ考えてくださっていると感じます。息子は理解や表現で苦手なことが多いですが、先生方の前向きな工夫を感じるので親としても相談しやすいです。生活上の選択肢の幅や個別対応など、建前ではなく個の多様性を大事にくださっていると感じます。それは自己決定、自己実現につながっていくことだと思うので、良い環境を作っていただいて感謝です。 授業の見通しや内容を視覚化することは、生徒が「分かった」と実感できる授業を実現するために重要なことと捉えて	自ら考える学習とか？でタブレットで生徒自身に調べさせる時間が多く、先生はいったい何をしているのかと感じます。AI学習なら先生は必要ありません。調べるのは一人でも自宅でもできます。学校で、ちゃんとした授業をしてほしいです。 ご意見ありがとうございます。「自ら考える学習」やタブレットを活用した授業は、旧来の「教師が教える」スタイルとは異なるので、戸惑いや疑問を感じられる方もいらっしゃると思います。しかし、こうした学習スタイルの目的は「調べること」ではなく、調べた情報をもとに自分の考えを深めたり、仲間と意見を交わしたりすることで、より主体的な学びを実現することにあります。教師はその過程で、生徒に思考を促したり、問いを投げかけたり、必要に応じて方向性を示したりと、見えにくいけれど以前よりも重要な役割を担っています。つまり、AIやインターネットで情報を得ても、「それをどう活用するか」「どんな視点で考えるか」といったことにはまだまだ人の導きが必要で、教師は学びのナビゲーターとして、生徒の成長を支えているのです。 どの授業をどの程度ご覧いただいたのか、また、「ちゃんとした授業」というものをどのようにイメージされているかが分からないので、一般論として回答させていただきましたが、これに該当しない、特定の授業や授業者に問題があるのであれば、ぜひ具体的にご教示いただきたく存じます。 先日、娘が高校の体験授業を受けてきました。娘が受講したのは歴史と地理で、ペアで考察に取り組んだり、ジグソー学習をしたりするような授業だったそうです。「ジグソー学習やったことある人？と聞かれたけれど、手を挙げたのは私だけだったよ。上中ではよくやるし、上中の授業って進んでいるんだね。」と言っていました。日々お忙しい中、より良い授業を研究してくださっている先生方に改めて感謝する機会になりました。そのときに一緒になった他校の女の子に、標準服可愛いねとても褒められたとも言っていて、上中はジャージもカッコいいよ

ねとうれしそうでした。

高校の体験授業を通じ娘さんが本校の授業に胸を張れたと知り、私たちも嬉しいです。

生徒が主体的に考え、互いに学び合える授業を全教職員で日々研究していますので、こうして他校との違いとして実感していただけたのは、私たちにとっても励みになります。

いつもお疲れ様です。お世話になり、本当にありがとうございます。例えば修学旅行の行き先を変えたことについてもそうですが、今の子ども達にとってより良いものと考えていろいろな試みや取り組みをしてくださっていると感じます。1学期

の面談では厳しいことを言われましたが、子どもへの愛情があつて敢えて言ってくださっていると感じました。私も不安があつたところをいろいろアドバイスしてくださいましたので、優しいだけより大変好感がもて、ありがたいと思いました。良い学校だと思っています。

子どもたちにとってどのような教育が必要かを常に考えて改善を重ねておりますので、その点を肯定的に受け止めていただき励みになります。また、面談でのやりとりについても、ご理解いただき感謝です。お子さまの可能性を信じ、誠実に向き合うことが、成長につながると信じております。

令和9年度修学旅行の目的地について

現在の1年生が3年生になったときに行く令和9年度の修学旅行の目的地について、実施初年度の挙行後の評価を踏まえ、また、近年の物価高騰による費用負担への保護者の思いをしっかりと把握した上で最終決定しようと、1学期後半に第3学年及び第1学年の保護者にアンケートを行いました。第3学年保護者の回答が16人（回答率23、2%）、第1学年保護者の回答が29人（回答率58%）と、決して高い回答率ではありませんでしたが、次のとおりの結果になりました。

○ 第3学年保護者対象

ア 長崎修学旅行を体験させてどうでしたか

とてもよかった…68.8% よかった…25%

あまりよくなかった…6.2%

イ 京都・奈良より費用が8,000円ほど増えたが、見合う成果を感じられましたか

大いに感じられた…50% 感じられた…37.5%

あまり感じられなかった…12.5%



↓自由意見

○長崎は蛇踊りが楽しかったと言っていました。平和教育も、歴史も勉強できてよかったですし、班行動がしやすいのが長崎だと思います。金額が問題ならばどれかをやめなくてはいいと思いますが、平和教育を残してほしいです。

○戦後80年の節目に、平和を考えるきっかけとなり、未来を生きる息子にとってとても良い機会でした。また、家族旅行では経験できない、みんなで行くからこそ体験できた龍踊りも、本当に良かったです。体験型の修学旅行、とてもいいなと思いました。

○我が家は、旅行先が長崎に変更になったこと、とても良かったと思っています。理由としては、2年生のときの浅草での都内巡りでは、「混んでいて疲れた」と子どもから聞いていたので、京都・奈良方面でも同じように混雑していてゆっくり歴史を学ぶことが難しいのではないかと心配しておりました。しかし、長崎ではそのような心配もなく、大変良かったと思っています。また、世界情勢を考えると、実際に世界のどこかで戦争が行われている今、平和について学び、どうしたら戦争が起こらないようにするのか、平和的、民主的に解決する方法など、平和について考えるきっかけになったと思うので、私はとても良かったと思っています。息子の様子は、修学旅行前もとても楽しみにしていて、修学旅行後も「楽しかった」と、笑顔で帰ってきたので、親として嬉しかったです。

○少し料金は上がりましたが、それだけの価値あるものだったと私は思っています。子どもたちにとっても、有意義な修学旅行だったことと存じます。

○先生方には、ご引率、ご指導いただきましたこと、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○これまであまりやってこなかった平和に関する学習を、事前学習からやれた事は有意義なものになったのではないかと思います。戦後80年となった現代、被爆者の方からのお話も貴重な体験になったのではないのでしょうか。歴史的にも異国情緒の多い長崎で、子ども達が見た物や体験したことはとても良い経験になったのではないかと考えています。

○ずっと行ってみたいと言っていた軍艦島に上陸できなかったのは残念でしたが、それでも子どもは大満足だったようです。原爆資料館見学もいろいろ考えさせられた…と言っていました。飛行機やグループでの自由行動・食べ歩き、何もかもが楽しく貴重な経験になったようです。本当にありがとうございました！

○とても充実した修学旅行だったようですが、内容が多く少しハードだったようで、だいぶ疲れて帰ってきました。場所や体験だけでなく、いつもと違う環境で友達と過ごす時間も、大切なのかなと感じました。

○関東圏から行く機会が少ない長崎を訪れることができて良かったと思います。被爆地としての長崎だけでなく、軍艦島がコースに含まれることで他では体験したり、学んだりすることができない長崎という街を学べたと感じました。一方、京都奈良も訪問したことがないため、こちらも有益かと感じます。なお、長崎は飛行機移動ということもあり、運休や遅延による予定変更のリスクや帰路での荷物宅配が2日後になることも考慮

に入れて判断すべきかと思います。特に荷物(お土産含む)は到着が2日後になることを気に掛けなかったため、到着まで心配することになりました。 ○戦争を経験した方から直接お話を聞いたこと、軍艦島をその目で見られたこと、異文化を肌で感じたこと、どれもがとても貴重な経験となったと思います。息子自身もとても充実し3日間を過ごせたようで、親としてはそんな経験をさせてくださ	り、子どもたちを見守りご指導くださった先生方に、感謝しかありません。 ○時間の余裕がなく、忙しかったと言っていました。特にグラバー園ではほとんど見られなかったようなことを言っていました。その他は貴重な体験ができ良かったと思います。 ○お世話になっております。この度は、長崎への修学旅行、大変お世話になりました。
--	--

○ 第1学年保護者対象

長崎修学旅行は関西修学旅行より約10,000円高になるとともに、総額で75,000円から80,000円となる見込みだが、どう思いますか

長崎がいい…62.1% 京都・奈良など70,000円以内で行かれるところがいい…24.1%
 どちらでもいい…13.8% ↓自由意見

○平和学習(長崎の場合)では残酷な資料などに苦しくなってしまう子もいると思うので、どうしても難しい子には違う形の学びができたりすると良いと思います。押し付けでなく、その子なりに平和が大事と思える機会になって欲しいです。 ○3年生の修学旅行のスライドを見て、是非行ってほしいと思いました。 ○あまり行く機会がない原爆資料館や人前での蛇踊り、軍艦島とてもいい体験だと思います。 ○子どもが京都・奈良に行きたいと言っていたため。 ○長崎にて平和教育を受ける機会があるのは日本人として大切なことだと思っています。また、家族旅行で長崎まで行く機会が	もてないのでこちらを選択しました。 ○戦争について考える機会も学ぶ機会も少ない為、良い機会・経験になると思います。 ○「平和学習」だけに捉われず、日本の歴史のいろいろな時代に深く触れられる内容を望みます。京都・奈良の他に、大阪や兵庫、名古屋などお城があり歴史の深い場所で、本物を見学し体感してほしいと思います。歴史がある場所には戦争に関する博物館など「平和学習」に関係する施設もあると思います。 ○「長崎」のように遠く、限定的な地域ではなく、広くいろいろな場所で学べる目的地を希望いたします。
--	--

長崎修学旅行を体験させたことに対し、第3学年保護者の93.8%にあたる方が「よかった」と回答してくださっており、また、関西修学旅行より費用が8,000円ほど増えたものの、87.5%の方が「それに見合う成果」を感じてくださっていることが分かりました。また、関西修学旅行より約10,000円高になって総額で75,000円から80,000円となる見込みでも、第1学年の保護者のうち62.1%の方が「長崎がいい」と考えておられ、「どちらでもいい」を合わせると75.9%の方が「長崎でいい」と思っていられることが分かりました。

以上のことから、令和9年度の修学旅行の目的地は、当初決めていたとおり長崎とすることを改めて確認いたします。なお、このことは本校の学校運営協議会にも諮り、ご了解をいただきました。ご多用の中、アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。

授業改善推進拠点校としての取組

研究主任 大橋 里

本校は東京都教育委員会授業改善推進拠点校の指定を受け、「主体的に学習に取り組む態度」の向上を目指し研究しています。「主体的に学習に取り組む態度」とは、文部科学省の定義によると「知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整」する態度となります。

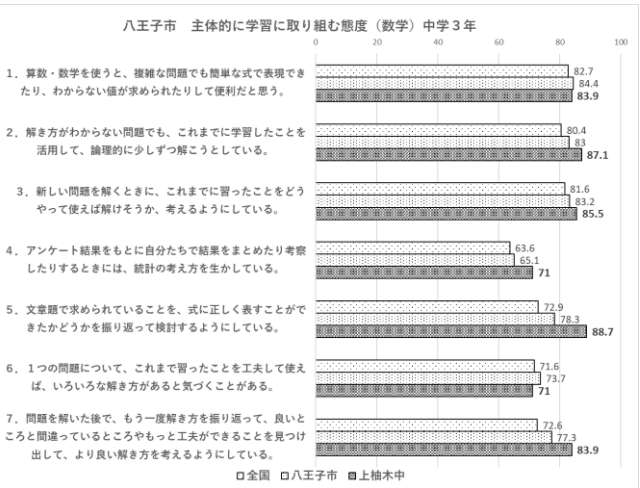
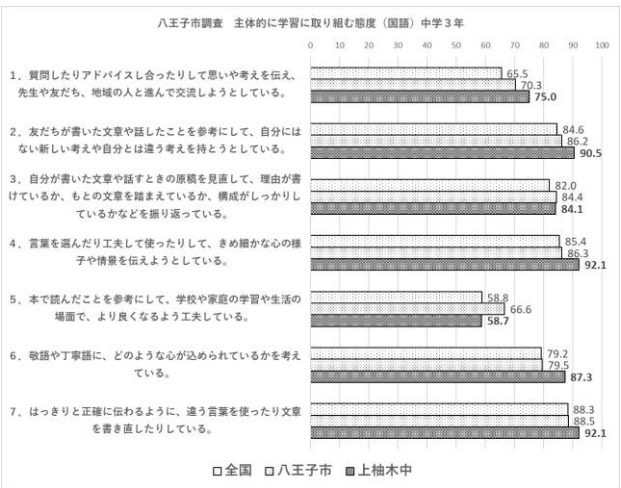
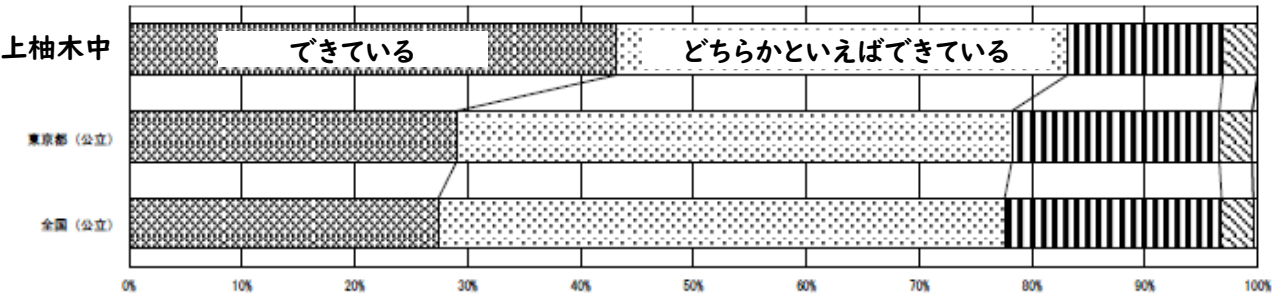
この態度を身に付ける上で、本校の生徒にとっては、「粘り強く取り組むこと」、「他者に自分の考えを伝えること」、「学習を工夫すること」が課題であることが東京都教育委員会の調査から分かっています。そこで、私たちはこの課題を解決するために、「生徒一人一人が自分の考えをもつ授業づくり」を実践しています。「自分の考えをもつ」ためには、まずは知識や技能を授業で獲得する必要があります。そこで私たちはしっかりと単元の最初に「教える」授業を展開します。次に獲得した知識または技能を使って考えさせることで、思考力、判断力、表現力等を身に付けさせます。多様な考えがもてる問いほど思考力が豊かになると考え、考えさせる問いの設定にも力を入れています。

これらの活動の過程に、生徒自ら「わかれろ」とする、考えを「もと」と調整する主体性が生まれると考えています。

こうした取組を行ってきた結果、全国の中学校に比べ、上柚木中生は「学習を工夫する力」の向上が見られました。今年度の「全国学力・学習状況調査」において、学習の工夫を尋ねた質問では

令和7年度 全国学力・学習状況調査 生徒質問から

質問番号	質問事項											
(16)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	43.1	40.0	13.8	3.1							0.0	0.0
東京都（公立）	29.0	49.2	18.4	2.9							0.0	0.5
全国（公立）	27.4	50.1	19.2	2.8							0.0	0.4



「できている」と答えた割合が、全国は27.4%、東京都は29.0%だったのに対し、上柚木中学校は43.1%と15ポイント以上上回りました。八王子市の「主体的に学習に取り組む態度」に関する調査でも、ほとんどの項目において、全国及び八王子市の他の中学校よりも肯定的回答の数値が上回りました。こうした生徒の変容を手応えに、今後も継続して研究授業を続けます。そして来年2月20日（金）には、2年間の研究の成果を全国に向けて発表します。

移動教室に向けて

移動教室担当 神保 真実

9月29日（月）から10月1日（水）までの2泊3日で、第1学年・第2学年合同で移動教室を行います。目的地は南信州です。南信州とは、長野県の南端に位置する地域で、飯田市と下伊那郡の14市町村で構成されています。南アルプス山麓の美しい自然が広がる地域で、①集団行動を通じて相互理解を深め、責任感やマナーを学ぶこと、②農業体験や民泊での人々との交流を通して

農業への理解を深め、自然や生命の素晴らしさや生産者のやりがいや苦勞を学ぶこと、③SDGsに関する学習を通して、持続可能な社会の実現のための地域の取り組みを現地で学ぶこと、の3点を目的として東京ではできない様々な体験を行います。

1日目の午前と2日目の午前は農業体験を行い、1泊目は各農家に宿泊します。家族の一員として、農家の方がどのような暮らしをしているのかを体験させていただきます。家庭によって、田・畑・果樹・薪・山菜など、行っている農業の内容は異なります。それぞれのやりがいや苦勞を生徒たちに少しでも感じさせたいと思っています。

2日目の午後はSDGsプログラムとして、「地元の特産品（和菓子）を活かした観光について考える」「人形浄瑠璃（今田人形）が伝承されてきた背景を知り、地域活動の在り方について考える」「棚田の保存活動に地域づくりの原点を見る」の3つのグループに分かれて学習を行います。実際の場所を見学したり、体験をしたりすることを通して、自分だったらどうするか、自分たちには何ができるのかを班に分かれて考えます。2泊目は昼神温泉ユルイの宿恵山に宿泊し、夜は天気がよければ近くの広場で星空観賞を行います。3日目はヘブンスそのはらでハイキングを行い、南アルプスに囲まれた大自然の中を散策します。

ふだんの生活から離れ、違う場所で3日間を過ごすことに生徒は不安や戸惑いを抱くかもしれませんが、この移動教室での経験はそれ以上にたくさんのことを学べると考えています。保護者の皆様には温かく見守っていただき、帰宅後はたくさんの思い出話を聞いていただけたらと思います。



生徒会役員選挙

生徒会担当 佐田 直樹

成人年齢が18歳に引き下げられました。それに伴い深く考えてほしいことがあります。それは18歳から選挙で投票することができ、政治に参加できるようになったということです。

選挙とは自分の意見を社会に反映させてくれる代表者を選ぶ大切なものです。自分の意見に近い考えをもち、応援したいと思える人を選び、その人に投票します。その票を入れたことが生活をより良くするための政治に参加したことになるのです。しかし、中には選挙に関心をもたず、投票をしない人がいます。それは自分の意見を代弁してくれる代表者を選ばなかったということなのです。生活をより良くするための意見を言う権利を放棄したということなのです。意見を言う権利を放棄してしまった以上、どんな社会になったとしても文句を言えません。

そんな選挙に、早い人では3年後に参加できるようになります。今のうちから政治や選挙に関心を持ちましょう。10月10日に生徒会役員選挙を行います。上柚木中学校という社会生活の中で感じた、こうなってほしい、こうあるべきだ。という意見を代弁してくれる人に票を入れ、学校づくりに主体的に参加しましょう。

第2回進路説明会について

進路学習担当主幹教諭 五十嵐 育子

10月17日（金）、第2回進路説明会を本校で行います。1回目は前年度入試の様子や進路選択に向けての心構え、入試の概要をお知らせいたしました。今回は今年度の受験制度、入試のための具体的な手順、提出書類等の説明をいたします。

さて、夏休みを終え、3年生にとっては勝負の2学期が始まりました。夏休みの三者面談では、上級学校の説明会や授業体験への参加を予定しているとの声を2年生からも多く聞き、3年生だけ

ではなく、2年生も進路に向けて高い意識をもっていることが伺えました。9月は文化祭や体育祭を実施する上級学校が多く、生徒たちのふだん通りの姿を見る良い機会です。是非足を運んで学校の雰囲気を感じ取り、自分に合うかどうかをチェックしてください。

3年生にとっての2学期は、中間考査や期末考査への準備、進学に向けての提出書類の整理、そして休日は上級学校見学や模擬試験など、これまで経験してきた2学期とは異なる日々が続きます。また、10月には最後の行事となる合唱祭があります。指揮者、伴奏者、そして歌声を届けるクラスメイト全員が一丸となって日々の練習に取り組む期間になります。そんな中でも時間を上手に使い、オンとオフの切り替えをしっかりと行えるよう自分自身をコントロールしてほしいと思います。

そして1・2年生は、楽しみにしている信州移動教室が間近となりました。部活動も中心メンバーとして活躍の場が増える時期でもあります。多くの体験をし、心身ともに成長できる2学期です。学習との両立を心がけ、「楽しいことだけ全力投球」とならないように、ひとつひとつのことに丁寧に粘り強く取り組んでいきましょう。

保護者の皆様は、お子様が成長すると少しずつ手を離れ、本人に任せることが多くなると思います。「反抗期」を迎えることもあります。しかし、まだまだ不安をたくさん抱えている中学生です。一番の理解者である保護者と一緒に、いつ、何を、どうする……をしっかりと共有し、同じ目標をもってこれからの進路選択に備えてください。

今回の進路説明会では、今年度の詳しい入試要項も出揃います。情報の一つの手段としても活用していただきたいと思います。なお、今回の出欠も前回同様、Google フォームでの提出といたします。よろしくお願いいたします。

上柚木中生の活躍

〇〇〇〇さん(2年1組):東京都中学校テニス選手権大会予選地区大会16強→都大会出場

不登校をテーマとした保護者サロン

不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を開催します。希望者は夜間学級の実際の授業が見学できます。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 対 象：市内在住で小・中学生の保護者
2. 日 時：9月26日（金）
午後5時45分から午後8時頃まで
3. 会 場：八王子市立第五中学校
4. 内 容：(1)講演「不登校の子どもたちが活用できる本市の資源～中学校卒業後の進路という視点から～」
講師 スクールソーシャルワーカー
(2)第五中学校夜間学級の説明及び見学
講師 第五中学校長ほか
5. 定 員：30名(先着順)
6. 受付開始：令和7年9月1日（月）
7. その他：会場に駐車スペースはありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

この2次元コードから申し込んでください。インターネット環境がない場合は電話による申し込みも可能です。下記の電話へご連絡ください。



不登校の子どもたちを支援する学校等の説明会

本市には、「高尾山学園」をはじめ、不登校の子どもたちを支援する学校等がいくつかあります。指導内容やスタッフ、申込みのシステム等にそれぞれ特色があります。そこで、お子さんの状態や必要性に応じてご利用いただくために説明会を開催致します。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 対 象：市内在住で小・中学生の保護者
2. 日 時：10月4日（土）午前10時から正午まで
3. 会 場：八王子市教育センター大会議室
4. 内 容：(1) 高尾山学園・適応指導教室・総合教育相談室の概要説明
(2) 教育センター内見学
(3) 各施設の利用に関する相談
5. 定 員：100名(先着順)
6. 受付開始：令和7年9月15日（月）

この2次元コードから申し込んでください。インターネット環境がない場合は電話による申し込みも可能です。下記の電話へご連絡ください。



<https://logoform.jp/form/iapr/1129079>